



ジェンダー知らなきゃヤバイ!?

6月15日、男女共同参画週間に向け作家のアルテイシアさんが講演

◎「男女共同参画週間事業」チラシ

市は、6月15日(土)、男女共同参画週間事業として、講演会「ジェンダー知らなきゃヤバイ時代がやってきた～男も女も、生きやすい社会を目指して～」を総合文化芸術センター別館で開催する。市は毎年、男女共同参画週間のある6月に本事業を開催しているが、コロナ禍明けでの対面での講演会実施は4年ぶり。「セクハラパワハラのセパ両リーグな会社」で「理不尽なことをいっぱいされた」経験を持つ作家のアルテイシアさんが、ジェンダーを学び感覚をアップデートすることの大切さを伝える。人権政策課の担当者は「性被害や性差別に苦しむ女性や男らしさの呪縛から抜けられず、苦しむ男性など、誰もが生きやすい社会にするためにジェンダーについて学ぶ機会になれば」と話す。

★国は「男女共同参画社会基本法」が公布・施行された平成11年6月23日に合わせ、毎年6月23日～29日を「男女共同参画週間」に定め、さまざまな取り組みを通じて同法の目的や基本理念について理解を深めることを目指している。市では、性別に関わりなく自分も他者も尊重し、違いを認め合い尊重し合える社会やワーク・ライフ・バランスについて考えてもらうため、男女共同参画週間事業として毎年講演会を開催している。

★作家のアルテイシアさん(写真)は、神戸市生まれ。ジェンダー、フェミニズム、家族問題などについて執筆。講演や授業も多数行う。著書『ヘルジャパンを女が自由に楽しく生き延びる方法』『生きづらくて死にそうだったから、いろいろやってみました』『田嶋先生に人生救われた私がフェミニズムを語っていいですか!?!』『自分も傷つきたくないけど、他人も傷つけないあなたへ』他多数。



★日時は午後2時～4時(開場午後1時30分)。保育・手話通訳・要約筆記は要申し込み。無料。先着100人。申し込みは5月1日午前9時から市ホームページ専用フォームまたは(電話843・5636、FAX843・5637、メール jinken-kouza@city.hirakata.osaka.jp)で男女共生フロア・ウィルへ。

<お問い合わせ> 市長公室 人権政策課 ☎ : 072-841-1424 FAX : 072-841-1700

ジェンダー知らなきゃ ヤバい時代がやってきた

～男も女も、生きやすい社会を目指して～

「男・女どっちが辛い!？」

といった、不毛な争いはやめて、
みんなでジェンダーの呪いを滅ぼそう!

医大の不正入試から、痴漢や「生理の貧困」問題、女性政治家の少なさ等々、女たちが性差別に声を上げる一方で、「男らしさの呪い」から抜けられない男たちのしんどさも。

作家のアルテイシアさんから、ジェンダーについて楽しく、わかりやすく、お話しいただきます。

6月15日(土)

午後 2 時～ 4 時 (午後 1 時半開場)

総合文化芸術センター別館 6階 大会議室
(旧メセナひらかた会館)

定員 100名、無料

保育、手話通訳、要約筆記あり (要申込)

5月1日(水)午前9時から専用フォームまたは電話、FAX、電子メール(氏名、電話番号、講座名、保育(6か月以上の就学前児、先着5名)・手話通訳・要約筆記の有無を明記)で受け付けます。

保育・手話通訳・要約筆記を希望される方は6月6日(木)17時30分までに要申込。保育を希望される方は電話でお申し込みください。



専用フォーム



アルテイシアさん (作家)

神戸生まれ。ジェンダー、フェミニズム、家族問題などについて執筆。講演や授業も多数行う。著書『ヘルジャパンを女が自由に楽しく生き延びる方法』『自分も傷つきたくないけど、他人も傷つきたくないあなたへ』『モヤる言葉、ヤバイ人から心を守る言葉の護身術』他多数。